

桃三校内研究便り

平成30年3月20日
桃井第三小学校 研究部

〈研究主題〉 「かしこい体 たくましい心」を育む指導法の工夫

☆3学期は研究授業を1回実施しました。

1月24日(水) 1年2組 体育 跳の運動遊び「もも三ジャングルたんけんたい」指導者：増田教諭

「ジャングルを探検しよう!」というテーマで、自然と様々な跳の運動を経験するように4つの場を設定しました。いろいろな跳び方を経験する中で、自分で試しながら跳び方を考え、友達に伝える姿が見られました。また、友達の発表を見たり聞いたりすることで、「もっと跳んでみたい」「他の跳び方に挑戦したい」という意欲の高まりも見られました。



研究のまとめ

今年度は研究主題のもと、7回の体育の研究授業を行った他にも、保健及び食育指導やICT研修を行ってきました。今年1年の研究を終えて、以下のような成果と課題があがりました。

〈成果〉

- かかわり合い、見せ合う活動をすることによって、友達の動きのよさを見付けることができ、自分の動きに取り入れることができた。
 - 教師が具体的な言葉かけをすることによって、良い動きや多様な動きを引き出すことができた。
 - 導入を工夫したことにより
- ①児童の興味関心が高くなり、全員が運動に楽しもうとする姿が見られた。
 - ②やらされている感がなくなり、自発的に運動をするようになった。
 - ③価値のあるゲームや運動「魅力的な運動」を提示することにより、その後の学習がスムーズに行えた。
 - ④自己効力期待(できるかもしれない、勝てるかもしれないという思い)の高まりがみられた。

〈課題〉

- ①どの学年でも、単元の導入を工夫し、運動に親しむ資質や能力を育てていく必要がある。
技能を身に付けさせると同時に、「楽しさ」を大切にしていく。
- ②「動きのよさ」を具体的にし、指導をしていく必要がある。
毎時間のねらいを明確にし、そのために必要な教師の言葉かけの数や種類を増やしていく。

今年度の成果と課題を生かして、来年度も子ども達のために

より質の高い研究を行っていきたいと思います。